

事業概要

作成：茨城県西部医療機構

事業期間
2022（令和4）年度～2024（令和6）年度
事業の目的
健診センター（仮称、以下「健診センター」という。）整備は、茨城県西部医療機構第2期中期目標及び第2期中期計画（2022（令和4）～2025（令和7）年度）に位置付けられている「健康増進、疾病の予防及び予防医療の活動」を達成するため、茨城県西部メディカルセンター敷地内に、新たに健診センターを整備し、この地域における疾病予防及び生活習慣病の早期発見を推進し、予防医療の充実を図ることを目的とする。
全体事業概要
<p>■健診センター施設等整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施設計 一式 ・監理 一式 ・建設工事 構造 鉄骨造 延床面積1,050㎡（2階建） ・医療機器購入 一式 ・情報システム整備 一式 ・什器備品購入 一式 ・開業準備 一式（パンフレット作成、ホームページ更新、竣工式等） <p>■健診センターの運用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2025（令和7）年4月1日の運用開始を目指す。 ・目標受診者数 年間12,600人（60人／1日） ※ オープン後5年目（2029（令和11）年度）に目標数を達成する。 ・必要スタッフ数 （ ）内はオープン時の人数 医師7（5）名、看護師8（5）名、医療技術職8（5）名、事務職9（6）名 合計32（21）名 ・既存の施設を一部利用することで費用を抑えた効率的な運用を行う。 既存の施設で行う検査：CT検査、MRI検査
事業の効果
<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病予防のための特定健診受診率及び保健指導の実施率向上に寄与できる。 ・筑西市が実施している国民健康保険及び後期高齢者医療制度加入者の人間ドック受診施設として、受診率向上に寄与できる。 ・予防医療に貢献することで、健康寿命を延ばし、医療費及び介護費の削減が図れる。 ・健診施設及び医療施設が連携をしているため、健診から医療又は医療から健診へ円滑に移行できる。
事業推進上の課題・問題点
<ul style="list-style-type: none"> ・安定した受診者数の確保が最大の課題となる。当面は企業健診を中心とした営業活動（健康保険連合会の指定施設認定を受け個別企業との契約を締結する。）が重要となる。 ・社会情勢による物価高騰及び製品の納入期限延長等の影響が懸念される。 ・需要がある上部消化管内視鏡検査体制構築のため、医師を安定して招へいすることが課題となる。現行の非常勤医師3名体制から、早期に増員を図る。